

継 続

題字 継続 揮毫 宇和島教育会OB 松家 裕 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@chime-kyouikukai.jp

夏の甲子園十九安打は残った



元八幡浜教育事務所長
増池 武雄

私の生き方の指針は「運は運べ」です。幸運にはいついつまでもと「感謝合掌」。不運と思えば午(馬)年生まれにあやかり「人間万事塞翁が馬」。忍耐と努力を怠らねば、そのうちまた陽は昇ると信じ、半世紀を教育界で生きてきました。

長い教員生活の思い出の中には、私を野球好きにした保内中学校での水口栄二選手との運の良い出会いもありました。彼はイチローがインタビューで「二番打者は誰がよいか」と聞かれて「水口さん」と答えたといわれるプロ野球選手です。高校はあこがれの松商へ進学。昭和六十一年には主将として第六十八回夏の

- (2) 学校紹介 川之石小学校
- (3) 地区教育会だより(東温市) ローカルトピックス
- (4) (5) 特集「私の健康法」
- (6) (7) 特集「初任者の声」
- (8) ふるさとスケッチ

甲子園出場を果たし準優勝に輝きました。大会では、最多安打十九本、連続安打八本、打率六割五分五厘の新記録、前年PL学園清原選手が残した最多塁打二十七にも並ぶ活躍でした。私も小四の三男坊と列車松商号に乗って初めて甲子園で高校野球の応援をしました。幸運にも優勝戦当日の朝刊には、「恩師は語る」として掲載もされました。

早大では一年からレギュラーで、第八十代主将としてチームを十五シーズン振りの優勝に導き、ベストナインも四回獲得しました。近鉄バファローズ入団後は、職人・業師として活躍。私が一番印象に残っているのは、二〇〇一(H

十三)年の日本シリーズ第三戦(対ヤクルト)での同点スリランです。生涯初のバックネット裏での応援。手を振ればにっこりの水口スマイル。会心の一打は大阪(京セラ)ドームのフェンス越え、感無量でした。

「記録は破られるためにある」といわれますが、今年度の高校野球は、早実清宮幸太郎選手の高校通算百十一本塁打、広陵中村奨成選手の甲子園一大会六本塁打の新記録達成で沸きました。特に、中村選手は夏の甲子園六冠(新記録四タイ記録二)の大活躍でした。その中の「最多安打十九本」は、三十一年前の水口栄二選手とタイ記録です。次にこの「残った十九安打」の記録を打ち破る選手の出現は野球王国といわれた愛媛(春四回・夏六回優勝)からと期待しています。

一 略 歴

- 昭和40年 愛媛大学教育学部卒業
- 平成7年 伊方町立町見中学校校長
- 平成10年 保内町立保内中学校校長
- 平成12年 八幡浜教育事務所長
- 平成15年 保内町立川之石小学校定年退職
- 平成15年 保内中央公民館長
- 平成21年 八幡浜市教育委員会教育長

聞 び 響

年中行事が目白押し。春は花見から始まり、端午の節句、そして、七夕、秋祭り、お月見等々、日本古来の年中行事は勿論ですが、ある調査によると、「毎年恒例の年中行事は」というと、「季節の節目」に「グルメ」が結びつく行事を楽しむ傾向が高いという▼ちなみに、第一位は、お正月の初詣とおせち料理、続いて、大晦日の年越しそば、クリスマス、お花見、節分、バレンタインデーと続く。海

外の習慣や文化も柔軟に取り込み楽しむ日本人らしさが出ているのか、最近では時期になるとハロウィングッズも目にするが多くなった▼ところ、二月と言え「節分」。そもそも、旧暦では立春の頃が一年の始めとされており、一般的には、豆まきの時「鬼は外。福は内」と唱えますが、不動明王を本尊とする成田山新勝寺では、不動明王の前では鬼さえ改心するため鬼はいないという考え方により「鬼は外」と言いませんし、菊間町でも鬼瓦の産地ということから「福は内。鬼も内」の願いを叶えることから「鬼も内」です▼皆から厄介払いされる鬼にも、心のオアシスになる居場所があり、良かった良かった。一年間の無病息災を願っています。

ひとこと

年をとっていくこと



大洲市教育会OB 土居 義彦

に嫌われ「だから年寄りはやメなのよねえ」とにらまれるのがおちである。

そんな若者もいざれ老人になるのだが、非難するときはいつ忘れてしまっている。

子供のころ、大人になると人間ができて、立派な振る舞いができると思っていた。

ところが自分が七十も年を重ねてみるとそれが錯覚であつたことに気がついた。それどころか、近ごろは若者より老人の方が行儀も悪く我がままだなと感じることが多い。「人のふり見て我がふり直せ」ではないが、ヘンな年寄りを見かけると、あんなになつてはいけなさと自戒している。

若いときは少々羽目をはずしても「若気の至り」といつて世間も大目に見てくれ謝れば許してくれた。年寄りの場合は認知機能が働いている限り、身勝手な行動は、ひんしゆくを買うだけである。若い人

「気をつけよ。周りの状況把握して行動を」とつぶやいた。

(大洲市教育会会長)

学校紹介

No.166

八幡浜市立川之石小学校

来たる南海トラフ大地震に備えて

川之石小学校は、愛媛県の最西端佐田岬半島の宇和海側付け根に位置しています。本校屋上の展望室から映える川之石湾は、宇和海に位置するリアス式海岸の入り江です。

校区のほぼ中央に位置する本校は、児童数百十五名の小規模校です。教育目標は、「川小のよき伝統を継承し、強く、正しく、美しく生きる児童を育てる」であり、知・徳・体の調和のとれた教育を目指しています。

本校区の立地条件等を鑑みて、南海トラフ大地震に対する防災教育の推進は必要不可欠です。毎年、避難訓練の内容を工夫して実施したり、地域と一体となった避難訓練に参加したりして減災と防災に努めています。

本年度、学校防災教育実践モデル地域研究事業の委託を受けて、学校防災教育の研究に取り組む機会を得ることができました。愛媛大学防災アドバイザー及び八幡浜市危機管理室の講師の方々からご指導・ご助言をいただいた防災マップづくり、自助・共助の考え方を学んだ自主防災会の方による講演等多面的・多角的に防災教育の推進を図ること



ができました。十月には防災教育参観日を実施しました。各学年の発達段階に応じた防災教育学習を公開しました。公開授業後、愛媛大学防災アドバイザーによる講演「防災教育を通して何を身に付けるか」を開催し、保護者・地域の方へ防災・減災に対する啓発を図ることができました。また、六年生の児童にとつて心に残る体験活動となつたのは、体育館に宿泊し、自助・共助の視点で防災に関する知識や技能を高めることを目的に実施した防災キャンプ(一泊二日)でした。八幡浜市危機管理室や消防署第二分署、川之石地区公民館等の方を講師として、応急担架作り、ロープワーク、煙体験・消火訓練・災害対策車両見学、防災



感謝の心をこめて Challenge & Smile

伊予銀行

(教頭 宮川 禪)

マップづくり、非常食の試食体験、避難所設営体験等を実施しました。この体験を生かして、地区防災会主体の避難訓練に参加したり、防災参観日には、完成した防災マップを公開したりと自助・共助の視点に立った活動を展開することができました。自分たちで主体的に判断し、自助・共助の精神で行動できる児童を育成するとともに地域と一体となった防災教育を推進していきます。

「備えあれば憂いなし」

題字に寄せて

継続は力なり



宇和島教育会 OB 松家 裕

節目節目に子どもたちに贈ってきた言葉です。私自身、いろいろなことに挑戦してきましたが、後悔と反省の繰り返しでした。ふり返ってみれば、唯一続いているのが『走る』ということでした。数十年前、子どもたちと取り組んだ『四国一周マラソン』がきっかけで普段でも走るようになりました。「苦しいのになぜ走るの」とよく聞かれますが、苦しさよりも自然の中を走る爽快さや走った後の充実感の方が勝り続いてきたのでしょう。継続の成果でもあります。今後いつまで走れるか自信はありませんが、継続できればと願う今日この頃です。

地区教育会 だより

東温市教育会

OBと現職の絆



東温市北吉井小 教頭 渡邊 秀司

平成二十九年度、東温市教育会はOB・現職、賛助会員二九九名。会員は次の様な公益事業参加を通して互いの絆を深めています。

【講演会】

愛大附属病院 抗加齢・予防医療センター長 伊賀瀬道也先生より健康寿命を延ばす秘訣を教わりました。翌日から参加者の生活が改善するところ間違いなしという雰囲気でした。

【趣味の講座】

OBを講師として迎え、「絵手紙教室」「折り紙教室」「小物づくり教室」の三講座を開講。OBから現職に教育技術が伝承されています。

【文化財巡り】

しまなみ海道を渡り、尾道

から軒の浦へクルージング。いろは丸の姿から龍馬の足跡をたどりました。帰りの因島ではM酵素工場を見学し、酵素パワーに参加者一同圧倒されました。

【奉仕作業】

先輩の先生方が開拓した「冒険の森」でクズやススキなどを刈払機や鉈、鎌で徹底的に除草。子どもたちが自然に触れ、自然から学ぶスペースを守り継いでいます。

東温市教育会を支える自分づくり、東温市の未来を支える子どもづくりのために交流を図りながら、今後もさらに絆を深めてまいります。



整備完了！ 冒険の森で

ローカルピククス

真情（まごころ）橋



現在の真情橋

少年たち六人が力を合わせて橋を直そうと、早朝四時に起き、寒い中も一生懸命、俵を積み、約一週間かけて修理を終えました。

やがて、この少年たちのりっぱな行いを後世に伝えようと碑がつくられ、この小さな橋は「真情橋」と呼ばれるようになりました。

この二つの小学校は以来、六人の少年の心をずっと大切に引継ぎ伝えていくのです。皆さんも一度、まごころ橋を訪ねてみませんか。

味生小学校には「真」、味生第二小学校には「情」の石碑があります。この二つの文字を合わせると、「真情」になります。この言葉には、次のような話があるのです。

大正一二年七月、南斎院と北斎院を結ぶ石橋が洪水のため、中ほどの継ぎ目から半分が崩れ落ちたのです。その後修理がされず、学校に行くにも遠回りしなければならず、特に小さい子どもたちは困っていました。

翌年一月になり、高等科の



文教月報編集協力委員 清水 昇
松山市教育会OB

特集 私の健康法

「天然グルメ」を求めて



四国中央教育会
OB
石村 拓朗

私の健康法：それは、自然界からの贈り物を五感で味わうこと。

新年早々のお雑煮は、もうすでに春の七草を入れて神棚・仏壇にお供えし、お下がりをいただく。これ無くして、新年は始まらない。縁起ものだから男の仕事、私がするのは決まり事でもある。

そんな私が最も恋し待ち焦がれるのは、春の山菜シーズ。小学生の頃から地域の誰よりも早く春先の天然ワラビを採って自慢していた。「初物は、まず父母に味わっていただく」ことを喜びとし、足しげく山中のカヤトの原、雑木林、ミカン栽培の段々畑、谷川に勇んで足を運んだものだ。ワラビと時期を同じくしてフキノトウ、ゼンマイ、ミツ

バ、やがて春本番になればタラの芽、コシアブラ、ウド、タケノコ、イタドリ、ユキノシタと種類も量も増えていく。山菜たちは、おしたし、油炒め、卵とじとなって、毎日のように食膳をにぎわわせることとなる。

夏はグミ・ビワ・草イチゴ・クワの実、秋はアケビ・シヤシヤブ・キノコ類、冬はキイチゴ・ヤマイモなど：もう年中、いつも山野を放浪している。

その間、海にも通い春先のオゴノリ・アオサを採取し、メバル・キス・チヌ等を釣り、アサリ・マテガイを掘り集め、ますます食生活を充実させていく。

貝や魚・山菜は採取すればよいというものではない。下ごしらえやアク抜きなど、手間暇惜しまず丁寧に時間を重ねなければならぬ。朝に採取、昼にアク抜き、夕食にはお膳に上る手際が大切となる。自己完結！ すべて自分でやりぬく！

この上さらに、自家栽培の野菜や果物、ホダギシイタケが加わる。

四季折々に節季に応じた行事や食習慣を追いかけると、古人たちの自然を愛し生活を豊かにする心遣いが伝わってくるような気がしてうれしくなってくる。私は、心身共に健康だ。

幻の減量法



中島市大須
三頭 昌寿
今治市教
高須 昌寿

「間食しますか?」「かりんとうを」「かりんとうはカロリー高いですねえ。」「晩酌は?」「はい、毎日。」「週二回は休肝日取りましょう。」「(週??週二回??)」

昨年九月の特定保健指導の会話である。Sさんは「半年で二キロ目標ね。」と言って帰っていった。メタボ予備軍との診断。かりんとうと決別し私の減量作戦は始まった。

朝四時半起床。国体道路(古い言い方)を南へ歩く。ただ歩くのでもつたいない。呼吸に合わせて上半身をツイス

トする。前から人が来ると止める。恥ずかしい。過ぎ去るとまた再開。毎朝一時間。朝食は炒り卵と鮭フレーク入りおにぎり。飲み会の帰りは歩いて帰る。遠い店なら一時間半。タクシーには乗らない。カロリーを消費せねば。(飲みに行くなんて? 確かに)

で、一か月は音なし。二か月でやっと一キロ。ヒエー! しかし、ここであきらめてはいけない。三月目で二キロ達成。「もつといけるぞ。」毎日体重と歩数をグラフに記入するのが楽しくなる。ツイストの勢いも激しさを増し、人が来ても止めたりしない。半年で六キロ減量達成! Sさんの驚く顔が浮かぶ。メールで結果調査があり、六キロ減量を報告したら、「おめでとうございませう」と返信がきた。しかし面談はなかった。ええっ面談はないの? そんなあ。それ以来朝起きるのが億劫になった私はかりんとうまで復活してしまい、私の減量作戦はここに幕を閉じたのである。

私の健康法



小石市立
井頭 光浩
山教
二宮 光浩

釣ってきた魚を息子と食べていると、「父さん、血抜きがあるから炙りが旨いね。」など、あれこれ言いながらバクバク食べる。息子には、旬の魚の味を教えてきた。そう、私の健康法は釣りです。

釣り場は、宇和島市由良半島周辺、西に御五神、沖に出ると南に西海の島々を眺めることができます。黒潮が本格的に流れ出し、海の命が息吹が、私にとってのベストシーズン。海は凪ぎ、モイカを皮切りに鯛、鱒、鯡など、旬の魚が釣れ始めるからです。

松山勤務になってからは年四・五回の釣行ですが、いくらか忙しくても、この時期だけは時間を作り、友と小舟を出し釣り糸を垂れます。最も熱くなるのは、六月に産卵期を迎え、父も愛した鶏魚(イサキ)釣りです。



ポイントに着くと、頬で風を感じながら潮の流れをよみ、アンカーを打つ。あとは自然との対話です。タナ(水深)は合っているのか、仕掛けは自然に漂っているのかなど、あれこれ考え、工夫するのも釣りの醍醐味です。

また、海は様々なことを教えてくれます。安全な釣行はほぼ百パーセント準備で決まること、法令遵守の精神、エンジンへの気配り、時を待つことなど：知らず知らずのうちには私のシーマンシップを磨いてくれています。

豊かな海がある愛媛に生まれて感謝、釣りに行かせてくれる家族に感謝、一緒に釣り糸を垂れてくれる友に感謝、そして誰より、釣りの楽しさを教えてくれたK校長に感謝、釣りがあから仕事もがんばれます。全てのものに感謝、黒潮が流れる限り。

私の健康法



前中松町教頭 福島 泰正

私の健康法と胸を張って人に言えるものはありませんが強いて言えば、食事は腹八分を心掛けています。酒の席では少々食べ過ぎの傾向はありますが、野菜は進んで食べるようにしています。たばこも禁煙と喫煙を繰り返しながら今は数回目の禁煙生活に入っています。酒は毎晩飲みますが、家ではビールはやめて焼酎だけにしています。(健康法とは言えないかな?) まるで言い訳のような健康法で恥ずかしいのですが、日々の生活は、こんなもんです。ただ一月に一回程度、仲間たちと自転車に乗っています。チー

祝 受章おめでとございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

- 矢野耕一郎様 88歳 元伊予三島市立三島小学校長 四国中央市
- 水田 敏廣様 88歳 元重信町立拝志小学校校長 東温市
- 松本 正志様 88歳 元五十崎町立天神小学校校長 大洲市

ム名は、SSCC(セルフ・スパニング・サイクリング・クラブ)当然造語ですが、「自らをむち打ちながら、自転車で走り続けるクラブ」という壮絶なチーム名です。平均年齢は六十歳弱ですが、おそろいのユニフォームで、やる気満々です。ただ、皆高齢なので「膝が痛い」とか「腰が痛い」とか、「坂道は避けよう」とかいろいろ文句や問題は出ます。しかし、皆楽しみながら自分の体力の限界に挑戦しつつ頑張っています。年を取っても同じ目的をもつ仲間が集まって、同じ目標に向かって頑張ると言うことはとても気持ちが良いことです。そして、また、次も頑張ろうと心の張りがでてきます。これが、私の健康法だと思えます。これからも、今まで頑張ってくれた自分の体をいたわりつつ、明るく前向きに生活したいと思えます。

楽しく続ける



北宇和教育会 OB 増田 善吉

傘寿を過ぎると、体のあちこちにガタが来る。補修をし、油をさして、無理をせずにいたわりながら使う必要がある。身体面では、起床時に布団の上でできる簡単なストレッチをする。次に犬の散歩のあと一時間程度のウォーキング。庭いじり等で一日の総歩数は一万二千歩前後になる。午後は野球のボールを使っ、寝転がったの腰と背中を指圧する自力整体。夕食後は足の裏にあるツボ押しとふくらはぎのみほぐしをする。次に食事面では、比較的安価で自作できる「レモン酢」を、朝食時に大さじ二杯程度発酵乳に混ぜて飲む。庭にレモンの木があるので毎年三十個ほど収穫できる。今年は何升ほど作り置きました。次に米麹と納豆、にんじん、塩昆布をブレンドした「麹納豆」を食べる。さらに夕食時には、炊飯器で作った「黒ニンニク」を食べている。

これらは血圧の正常化、動脈硬化の予防、中性脂肪の減少などに効果があるとか。自分で作った物だから、愛着もわくし嫌気がこない。その他、午後のひととき、

モーツァルトの弦楽四重奏曲を聴きながらリラックスマスする。腸内環境をよくし、体調不良を整える効果があるのだとか。家畜の飼育にも利用されているから、彼の曲には魔法の周波数があるらしい。心なしか便通もよくなった気がする。

決して自慢したり、薦めたりするほどのものではないが、自分には効果があると信じて、毎日楽しく続けている。



冠婚葬祭事業 (株)ベルモニーのご案内

愛媛県学校生協は(株)ベルモニーと提携店契約を結んでおります。冠婚葬祭のご利用お申し込みの際に学校名と組合員様のお名前をお伝え頂きますと、割引などの特典が受けられます。

(他団体との併用はできません。)

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 郡市学校生活協同組合



特集 新任者の声

平成二十九年度小中学校の新規採用教職員は合計三百六十六人でした。内訳は、小学校二百十三人、中学校九十二人で、教諭が小学校百八十三人、中学校七十五人、養護教諭が合計二百十四人、栄養教諭が合計二人、事務職員が合計三十二人です。

教職経験が初めてという初任者も不安を乗り越え、教育現場に若い息吹を吹き込んでくれているものと思います。

学校現場での先輩・後輩、OBも含めての教職員仲間としての先輩・後輩、共に歩み、育つてゆくことを願っています。

なりたい自分に 向かって



小鳥生市治
諭論美穂
教諭 又川

初任者としてこの九か月は、とても充実していた。失敗

や悩むことが多かったが、その度助けていただいたてこまできた。私の勤める鳥生小学校の職員室は、いつも温かい雰囲気を感じる。ユーモアと優しさで私を笑顔にし、そして成長させてくださる。ともに研修に励んだ同期との出会いも、私を前向きにさせてくれた。私の誰にも負けない強みは、人との出会いだと思おう。

何より私を一番成長させてくれるのは、二十六人の子どもたちである。伸びようと努力する姿、友達を思いやる言動、成長していく姿に私もやる気をかきたてられている。

十一月に二分の一人成人式を行った。子どもが自分の成長を感じ、周りの人へ感謝の気持ちを伝える姿に感動した。

この子たちがあと十年、多くを学び、成人した姿を見てみたい。その未来のために、今とても貴重な時間であることにかみしめている。私は、この子たち一人一人が、なりたい自分に向かって進んでいっ

て欲しいと願う。これからの私の目標は、周りの先生方の強みを吸収し自分のものにする。教師として、人として大きくなること。感謝の気持ちをおお切に、目の前にいる子たちとともに、私もなりたい自分に向かって進んでいく。

生徒とともに



中南市居
諭論裕望
教諭 玉野

「よし、行こう」教室に入る前に深呼吸した始業式の日。生徒の前に立つだけでも緊張したあの日から早くも七か月が経ちました。七か月間、特に難しいと感じたことが「叱ること」です。「褒めること」は生徒と楽しく穏やかに接することができず。しかし、「叱ること」では学校の生徒指導の方針に基づいて、生徒の失敗を理解・反省させるために叱っているのですが、先輩の先生が指導するのはなかなか聞いてくれないも

どかしさがありました。生徒との信頼関係がなければ、生徒が聞く耳をもたずに言葉が上滑りしていきましました。叱りっぱなしにせず、叱った後はしっかりとその生徒の成長を見守り、できたことは共に喜びながら褒めていきたいと考えています。

生徒との年齢が近いため、よくも悪くも生徒が気軽に接してくれました。その中で、生徒がどんなに困った行動をしたことが、今年度の私の誇りです。どうしても生徒が好きなのです。沢山の可能性も、自分を必要としている人がある。それだけで私は、今までもこれからもどんなことにも負けずに頑張れます。自分を支えてくださる方々に感謝をし、一生懸命自分の生きざまを磨いていきたいです。

子どもたちに 負けない



小中郡伊予
諭論博美
教諭 宇津

四月に三年生の担任となり七か月が経った。漢字の苦手な子がテストで百点を取ったり、泣いてばかりの子が泣かなくなったりと、子どもたちの成長に感動する毎日だ。一番感動したのは、運動会のダンス。学年のダンス担当となった私は、『絶対負けない』という曲を選び、自らダンスを練習したり、隊形を考えた。百六十六名の子どもたちに指導できるだろうかと不安な気持ちになることもあった。そんな時、私を励ましてくれたのは、子どもたちだった。最初は速いリズムについてこれず、ぎこちない踊りだったが、練習を重ねるうちに、まくなるとする姿を見て、私が不安ではいけないと思っ。運動会本番、心配でドキドキする私。「絶対負けない」という掛け声で一斉に走り出し、とびきりの笑顔で踊る子どもたち。その演技を見て、自然と涙があふれた。ダンスを終えた子どもたちに最初に伝えた言葉は、「ありがとう。」だった。私に最後まで指導させてくれてありがとう。素敵なダンスに仕上げられてありがとう。そんな気持ちで胸

がいつぱいになった。
運動会を終え、私は子どもたちがいるからこそ指導ができる、ということに気が付いた。子どもたちの毎日の成長に負けないように、私も成長していきたい。

新たな気持ちで



中久米市教諭
加衣相原川山

今年度は、さまざまな研修を受け、多くの先生方に支えていただき、教員として基礎となる一年間を過ごすことができています。

私は一時期、県外の学校で勤務していたことがありました。愛媛県との違いに戸惑うこともありましたが、さまざまなことを学ぶことができたよい機会となりました。そして、愛媛に帰ってきて、愛媛の先生方の教育に対する丁寧さや、温かさを改めて感じることができました。私もそんな先生方と一緒に働けることをうれしく思うとともに、さらに勉強に励んでいかなければ

ばいけないと感じました。現在、私は、中学二年生の担任をさせていただいてます。子どもたちは、心も体も大きく成長する時期で、これから社会に出ていくためにさまざまな力をつける必要があります。楽しいことばかりではなく、辛いことも乗り越えなければいけません。そんな時に、励まし合える仲間や相談できる先生との出会いにより、充実した学校生活を送ることができると思うのです。私はその一助となれるよう、精進していきたいと思えます。

子どもたちとともに成長



小住吉市住和教諭
恵理松田

小さい頃から夢にえがいていた愛媛県の教員になることができた。そして、母校である宇和島市立住吉小学校で二年生二十名の学級担任としての教員生活がスタートした。

毎朝、学校で子どもたちの

「おはようございます」という挨拶や笑顔によって、私は「今日も一日、子どもたちと一緒に頑張ろう」という気持ちになる。子どもたちの明るい声と笑顔は、私の元気の源である。

四月から比べると、子どもたちはできることがたくさん増えてきた。教員は子どもたちの成長を身近で感じられる素晴らしい職業だということを、改めて感じている。

もうすぐ初任者としての一年が終わる。初任者になってから、初任者研修や先生方から学んだことがたくさんあった。まだ、学んだことの全てを身に付けることはできていないが、これから教員を続けていく中で、子どもたちが、「楽しい」「分かった」「できた」と思えるようなよりよい授業をしていくために、学び続けることを忘れず、指導力を磨いていきたい。また、一人一人にしっかりと接し、子どもたちとともに成長している教員でありたい。

スタート



中久米市教諭
翔藤田

授業中、ふと窓の外に目をやると、灰色がかかった曇り空の下、校舎で囲まれた中庭に雪が降り始めた。西予市宇和町では、毎年の光景であるとともに、この景色が一年の終わりを感ぜさせる。

講師として勤めた宇和中学校に改めて初任者として勤務させていただくこととなり幸せを感じた。そんな思いを胸に今年度がスタートしたが、早いもので初任者としての一年が終わりを迎えようとしている。今年度を振り返ってみると、充実した一年間だったと強く思う。入学式から始まり、各行事での様々な出来事を持ち越えながら、学級の生徒とともに一喜一憂し、目まぐるしく過ぎていく日々の中で自らの成長を感じた。初めての学級担任を行う中で、生徒の様子をこれまでとは違った視点で見ることが

た。学級の生徒との関わりがより密接になった分、一人一人の小さな変化を見逃さないように様子を細かく見るように心がけた。人間関係や勉強の悩み等、新たな気付きがあり、生徒理解を深めることにつながった。しかし、見えていない部分も多く、自分の力のなさを痛感するときもある。さらに学び、身に付けていかなければならないことも多くあるが、これから大きく成長し、少しでも力になれるように努めていきたい。

積立年金制度

明治安田生命は、みなさまのよりよいコミュニケーションづくりに全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

明治安田生命

四国公法人部 〒760-0017 高松市番町1-7-5
法人営業部 TEL087-821-6811



ふんぞりとスケッチ

No.408

中央公園



新居浜市南中 教諭 園部由紀子

今年も美術部で校外写生を

行った。立ち寄りか
ほぼ初めての市内中
心部にある中央公
園。車窓から眺める
と、コンクリートに
囲まれさぞや暑かろ
うと想像していた
が、実際は大変心地
よい場所だった。



強い日差しを和らげる木
陰、噴水と風が熱された空気
を和ませる。また、子連れの
女性、ハトにエサをやる老夫
婦。仕事中に一息入れる会社
員。懸命に絵を描いている生
徒への温かい声掛けをいただ
くなど、猛暑の中で爽やかな
風を感じる今年度の夏であつ
た。

ご冥福をお祈りします

青野 陽一様	矢野市太郎様	酒井 芳郎様	篠原シゲヨ様	小林瑠璃子様	藤原 宗人様	浪口 節美様	越智 求様	濱田 隆子様	三木 智海様	鴻上寿賀雄様
82歳	93歳	84歳	97歳	92歳	88歳	97歳	86歳	91歳	91歳	88歳
西条市日之上甲六九	今治市北日吉町一六六	西条市三芳一七〇・二	八幡浜市広瀬一三五	南宇和郡愛南町緑乙二五六	松山市南高井町四八二	南宇和郡愛南町柏崎四〇六	西条市新市五七	八幡浜市保内町川之石三四〇	松山市三番町丁八一七	新居浜市船木三六一
29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11
23	18	11	6	6	3	2	2	25	18	12

お知らせ

◆俳画・水墨画教室の活動について

愛媛県教育会「俳画・水墨画教室」は、大倉可貴先生のご指導の下、十一名の受講生で活動しています。

毎月二回（第一・第三木曜日の午前十時〜十二時）和気あいあいの雰囲気の中で作品制作に頑張っています。

完成した作品は、本報で紹介したり、当会館のロビーに展示したりしていますから、どうぞご覧ください。

興味のある方は遠慮なく、左記までご連絡ください。

【お問い合わせ】

愛媛県教育会事務局

（☎）〇八九・九四五・二五二一



仙波 弘子作

◆文教ロビー展

会館一階ロビーにおいて、「絵手紙ーさわやかクラブ・藤川典子とその仲間たちー」の展示会を開催中です。二月末までお楽しみいただくことができます。お越しくださいます。



渡部 平人作



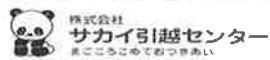
お得な引越のご案内

愛媛県学校生協は（株）サカイ引越センターと提携をしております。学校生協組合員様とご家族の方の引越は、引越の基本料金から20%割引いたします。

お見積りは無料です

お問い合わせは

愛媛県学校生協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 郡市学校生協同組合



組合員様の異動や、子供さんの進学・就職の際に是非ご利用ください!

■文部科学省検定 小学校・中学校・高等学校教科書
■副読本・教育用図書・参考書 ■デジタル教科書・教材

未来をになう子どもたちへ
日本文教出版

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5 TEL:06-6692-1261
東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16 TEL:03-3389-4611

<http://www.nichibun-g.co.jp/>